

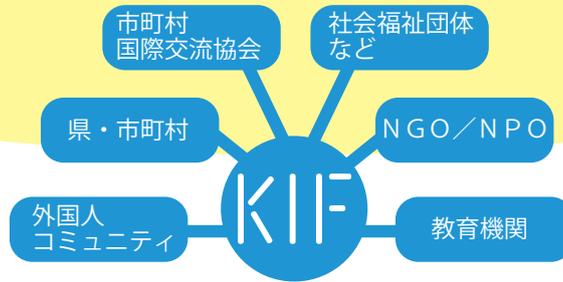
— 目次 —

- 2013年度のかながわ国際交流財団…………… 1
- かながわ民際協力基金の助成方法が変わりました…………… 6
- 助成事業を募集します…………… 6
- ＜かながわ国際交流財団おすすめ情報＞…………… 7
- ・ 『外国人コミュニティ調査報告書2』発行のお知らせ
- ・ 『外国につながる子どもの未来を支えるために』発行のお知らせ
- ・ 「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」をつくりました
- ・ 「かながわ日本語学習マップ」が新しくなりました
- ご寄付のお願い…………… 8
- 賛助会員募集のご案内…………… 8

2013年度のかながわ国際交流財団

—財団の事業をご紹介します—

かながわ国際交流財団（KIF）の2011年度からの中期的な重点目標は、「持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり」です。「中間支援組織」として、さまざまなセクターと連携・協力しながら4つの柱をすえて事業に取り組みます。



◆ 事業の柱（その1）「多文化共生の地域社会かながわ」をめざして

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくことができるよう、様々な取り組みを行います。



■ 昨年度開催した「サンドラ・ヘフェリン講演会」の様子

◇ 多文化理解を促進するために講演会を開催します

多数者である日本人が外国人住民の置かれている状況や、大切に受け継いでいる文化などを知って、共感したり質問したりしながら理解を深めていくことができるよう神奈川県内で講演会を開催します。

昨年度は、かながわ県民センターで『ハーフが美人なんて妄想ですから！』の著者であるサンドラ・ヘフェリンさんを講師に招いて「「外国人」とは？「ハーフ」とは？「日本人」とは？ ～それぞれの立場から多文化共生を考える～」をテーマに講演会を開催しました。

今年度の開催について詳細が決まりましたら、ホームページやチラシなどでご案内しますのでぜひご来場ください。

多言語情報メール配信サービス
INFO KANAGAWA

通过电子邮件用多种语言发送的「INFO KANAGAWA」免费服务
 "INFO KANAGAWA" Servicio Informativo Multilingüe emisión por mail
 Serviço de envio de informações via mail em vários idiomas "INFO KANAGAWA"
 "INFO KANAGAWA" Naglalathalaing ng mga Impormasyong nakasalin sa iba-ibang wika sa pamamagitan ng E-mail.
 Multi-lingual Information Delivery Service "INFO KANAGAWA"

にほんご 中国語
 日本語 スペイン語 Tagalog タガログ語
 Portuguese ポルトガル語 English 英語

無料
 免费
 GRATIS
 LIBRE
 FREE

■INFO KANAGAWAの多言語のチラシ

ORTOPEDIA
 整形外科問診票

Nome 姓名
 endereço 住所
 Você tem seguro de saúde? 健康保険持っていないですか?
 Você tem alguma doença ou condição? 貴方現在でアトピーやアレルギーに悩まされていますか?
 Está tomando medicamentos atualmente? 毎日服用している薬を教えてください
 Está grávida ou desconfia que está? 妊娠しているか、まだ確信がありませんか?
 Quando foi a última menstruação? 最終月経
 Histórico clínico de doenças? 過去でこの科から受診されたことがありますか?
 doença no estômago 胃腸病 doença no intestino 腸病
 doença no fígado 肝臓病 doença renal 腎臓病
 doença cardíaca 心臓病 diabetes 糖尿病
 tuberculose 結核 hipertensão 高血圧
 outra doença NÃO SEI 分かりません outras その他

■多言語医療問診票は、日本語を除く17言語・10科目で作成



■避難所で使う機材（災害用トイレ）組立て訓練の様子。外国人参加者が壇上で体験（主催：神奈川県、受託・実施：（公財）かながわ国際交流財団）



■「災害多言語支援センター設置訓練2回目」の様子（主催：神奈川県、受託・実施：（公財）かながわ国際交流財団）

◇外国人住民に情報を提供します

外国人住民が安心して生活し、地域社会に参画するために必要な情報が必要な人のもとに確実に届くよう、情報の普及を行います。

●多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」を配信します

外国人住民の暮らしに役立つ情報を携帯電話やパソコンに月に4～5回お届けします。受信登録はホームページからいつでもできます。

http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa.html

言語：日本語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、英語

＜このような情報を配信しています！＞

- ・就学援助・奨学金について
- ・「住まいのマニュアル」の紹介
- ・風しんがはやっています
- ・「介護ヘルパー養成科」求職者支援訓練 受講生募集
- ・復興特別所得税について
- ・外国人のための生活相談会&健康診断&防災フェア



●「多言語医療問診票」をリニューアルします

NPO法人国際交流ハーティ港南台との協働により全国に先がけて開発し、10年以上に渡り県内外で広く活用されている「多言語医療問診票」をより使いやすく、より充実した情報が提供できるよう全面的にリニューアルします。日本語を母語とする方が海外に行くときにもご活用ください。

<http://www.k-i-a.or.jp/medical>

●日本語教室・学習補習教室・母語教室の情報を提供します

学びたい人が学びやすい環境を見つけることが簡単にできるよう情報を提供します。教室のボランティア受入れの情報も提供します。

教室数：日本語教室85 学習補習教室37 母語教室14（2013年3月末現在）

※横浜、川崎、横須賀の日本語教室は地域の団体がまとめた情報にリンクします。

<http://www.k-i-a.or.jp/classroom>

◇災害に備え安心と安全をサポートします

神奈川県では、外国人住民が災害時の要援護者として位置づけられています。財団は、災害時に外国人住民の安心と安全を守る取組みを進めます。

●災害に備えます

神奈川県で大規模災害が起これば、神奈川県災害対策本部が設置されると、当財団は神奈川県との連携・協力により外国人住民に情報提供を行う「神奈川県災害多言語支援センター」を設置します。今年度は、同センター設置の訓練を行います。また、同様のセンターを設置する県内の自治体との連携と、情報共有を目的とした会議を開きます。

●外国人住民向け防災ツール（資料など）を作成します

防災についての知識や経験があまりない外国人住民が自ら安全を確保し自分や家族の命を守るよう多言語で資料などを作ります。



■「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」のトップページ



■昨年度開催した外国人コミュニティとの意見・情報交換会の様子



■財団は子どもの成長を支えるためのブックレット・リーフレットをシリーズで作成し、学校や地域で活用してもらっている

◇外国人コミュニティとの連携を強化します

●「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」を運営します

県内における外国人コミュニティと地域社会を結び、相互の交流・理解を促進するためのホームページです。外国人住民に役立つ情報と支援者や地域に役立つ情報を整理して紹介しています。財団は、外国人コミュニティと連携しながらこのホームページを運営し、内容をより充実させ暮らしに役立つようにします。

<http://www.k-i-a.or.jp/kcns>

●外国人コミュニティの意見・情報交換会を開催します

昨年度は、情報流通について意見を交換しながら外国人コミュニティ間の横の連携を深めるとともに、財団との関係を強化しました。今年度も引き続き開催します。昨年度の意見はホームページの制作に反映しました。

◇外国人住民への総合的な支援の取組みを進めます

昨年度は、モデル市域の平塚市内において、「子どもを入り口にした家族支援」をテーマに、学校、教育委員会、市の関係部局、市社会福祉協議会等と連携しながら取組みを行いました。具体的には、「ライフプラン」や「健康・保健」をテーマとした外国人住民向けセミナーの開催、外国につながる子どもの勉強の補習や居場所づくりを目的とした学習支援教室の運営、自分からは行政窓口などにアクセスできない方々の困難な事例への相談対応や同行支援、行政職員やボランティアを対象とする研修の実施などの事業を行いました。

今年度は、そうした事業を継続しながら、外国人住民のコミュニティづくりにも取り組み、モデル事業から見えたことを資料にまとめ、県内に広く普及します。

◇外国につながる子どもたちを支援します

県・市町村、NGO/NPO、県内外の専門家等と連携しながら、県内の外国につながる子どもたちの生活・学習環境の整備に取り組みます。

具体的には、県・市町村教育委員会やNGO/NPO等の間で情報共有と意見交換を行う連絡会及びネットワーク会議、外国につながる子ども支援のためのフォーラムを開催するとともに、教育関係者向けの研修会を実施します。また、今年度は、子育て、保育、教育の現場で役立つ、外国につながる子どもたちを理解するためのリーフレットを作成します。

◆事業の柱（その2） 県内 NGO 活動のさらなる促進と多文化共生社会の基盤整備をめざして



■イランの障害者への訪問看護のサポート
写真提供：(特活) イランの障害者を支援するミントの会

◇かながわ民際協力基金によるNGOへの支援を行います

県内のNGO/NPOが実施する先進的かつニーズの高い国際活動（海外協力、国内協力、担い手育成など）に資金助成を行います。

◇多文化共生の地域社会づくり応援事業を新設します

県内各地で実施される外国人住民の社会参画や自立を促進するための取組み、地域住民の相互理解を一層促進するための取組みなどを資金助成により応援します。

この新しい助成の仕組みを外国人コミュニティや小規模なNGO等の皆様に活用していただき、県内各地の実情に合った取組みが増えることにより、県内全域に持続可能な多文化共生の地域社会づくりを拡げたいと考えています。

かながわ民際協力基金による資金助成の仕組みや、申請にあたっての相談方法については本誌6ページをご覧ください。

◆ 事業の柱（その3） 国際性豊かな人材の育成のために



■「国連大学グローバル・セミナー」で講義に集中する学生たち



■「インカレ国際セミナー」の分科会で討議する様々な大学から参加した学生たち



■「青少年国際セミナー（K-PIT）」のグループワークで発表する高校生の参加者



■「かながわ国際ファンクラブ事業」において挨拶する黒岩知事



■「国際理解事業」において中国からの留学生が生活・文化を紹介

「グローバル人材支援事業」のうち、①は日総グループ（日総工産（株）・日総ブレイン（株））と連携して実施。④は日総グループが実施します。

ネットワークを活かし、国際社会で活躍する人材や、グローバル化に伴い「多文化」化する地域を担う人材を育成します。

◇世界情勢について学ぶ大学生・大学院生、留学生を支援します

国連大学と連携し、大学・大学院生、留学生を対象に3泊4日の「国連大学グローバル・セミナー」を実施します。日本語と英語を使用した国内外の研究者・専門家・実践者等による講義とグループ討議を行います。今年度は9月2日（月）から5日（木）まで、「新しいエネルギー選択が切り開く持続可能な未来」をテーマに開催します。

◇アジアについて学ぶ大学1、2年生と留学生を支援します

日本が位置する東アジアを軸に、基調講演や分科会討論を通して留学生と学生が学びあい、アジアと日本の関係に理解を持つ国際的な人材を育成するため「インカレ国際セミナー」を2泊3日で実施します。大学生を中心に、テーマ別のグループ討議を行います。国内外10大学が協力しています。

◇県内高校における国際教育を支援します

県内の高等学校を対象に、講演会やワークショップ等の各種プログラムについての相談に応じ、講師を派遣する「高校国際教育支援事業（派遣授業）」を実施します。研究機関、NGO、外国人住民等とのネットワークやセミナー実施のノウハウを活用し、高校における国際教育を支援します。

◇高校生世代が世界に目を向けるための支援をします

県内の高校生世代を対象に、「青少年国際セミナー（K-PIT）」を年2回（日帰り、2泊3日）開催します。「世界の入口に立とう」を共通テーマとして、世界の現状や課題に対する理解を深め、豊かなコミュニケーション能力と多様なものの見方を醸成する参加型プログラムで構成します。

◇留学生と、グローバル人材を応援します （神奈川県委託「グローバル人材支援事業」）

① KANAFAN STATIONの運営

交流スペース「KANAFAN STATION」（かながわ県民センター2階）の運営と、同スペースでの情報提供・相談、イベントなどを行います。

② ポータルサイト「かながわ国際ファンクラブ」の運営

「かながわ国際ファンクラブ」ホームページをリニューアルします。

③ かながわ国際ファンクラブ事業

会員（留学生等）とサポート会員（支援団体等）の交流会を開催します。

④ 「働きたい」支援事業

留学生を対象に、会社説明会や就職支援セミナー、企業見学会を開催します。

⑤ 「住みたい」支援事業

留学生等外国人の方から住まいに関する相談を受け、情報を提供します。

⑥ 「つながりたい」支援事業（サポート・ファミリー事業）

留学生に「サポート・ファミリー」を紹介し、支援・交流を進めます。

⑦ 青少年国際セミナー事業

世界情勢についての講演や留学生との討論などを含む講座を開催し、高校生等若い世代の視野を広げ、コミュニケーション能力を育てます。

⑧ 国際理解（学校訪問事業）

県内の小・中・高校に留学生を講師として派遣し、世界への関心を育てます。

⑨ かながわ・インターナショナル・カフェ事業

「KANAFAN STATION」を会場に、月1回様々な国の留学生と神奈川の高校生・大学生などが交流できる催しを行います。

⑩ 留学応援セミナー事業

留学事情・留学支援制度などの情報を提供する講座を開催します。

◆ 事業の柱（その4） 学術・文化交流の促進のために



■「21世紀かながわ円卓会議」で講演する建築家・伊東豊雄氏



■第5回「ミュージアム・サミット」において参加者と意見交換をする基調講演者ジョン・ホールデン氏（中央右）



■第5回「ミュージアム・サミット」の記録を書籍化した『地域に生きるミュージアム』（現代企画室）



■「湘南国際村アカデミア」において研究者の話に熱心に耳を傾ける参加者

学術・文化交流を通じて、魅力ある神奈川を創造するための知恵を国内外から吸収・蓄積し、グローバル化の中で特色のある地域文化力の再生・振興を図りながら、持続可能なかながわの地域社会づくりに貢献します。

◇多様な視点から「コミュニティの再生」について考え、将来像を提案します

東日本大震災を経験し、改めて人や地域社会の絆の大切さが見直されている中で、多角的な視点からコミュニティの再生をテーマに話し合う「21世紀かながわ円卓会議」を2日間にわたり開催します。

多分野にわたる研究者、自治体首長、ジャーナリスト、実務家などが集い、県内の取組みや課題も踏まえた複数のセッションを設定します。参加者同士でのグループワークも交えながら、多角的な議論を通して出席者の社会的ネットワークも蓄積し、幅広い視点でコミュニティづくりについて考えます。今年度の円卓会議は、基調講演として哲学者の内山節氏を招き、11月9・10日に湘南国際村センターで開催を予定しています。

◇これからのミュージアムが果たす機能や役割について考えます

2004年から隔年で開催してきた「21世紀ミュージアム・サミット」では、「文化の継承と創造」をテーマとした第1回から、前回（2012年2月）までの5回のサミットを通じ、国内外の美術館の先進的な知見を伺うと共に、グローバル化の大きな波の中で変容している地域社会の中で、ミュージアムが持つべき機能について議論をしてきました。

こうした機能や役割が具体的に果たせる環境にしていくためにはどのような社会的制度、政策的取組みが必要でしょうか。今年度開催の第6回ミュージアム・サミットでは、一般の市民、専門家、ミュージアムの館長、現場の実務者など様々な立場の参加者が同じテーブルについて、さらにその議論を深めていきます。来年2月に湘南国際村センターで開催予定です。

◇持続可能な地域社会づくりを目指して、調査研究を実施します

緊急性が高く、かつ中長期に県民生活に影響が及ぶ可能性の高い地域政策課題を取り上げて調査研究を行い、持続可能な地域社会づくりに向けた課題解決の方向性を示します。

今年度は2か年の調査研究テーマとして、財団のミッションである「多文化共生の地域社会かながわづくり」や「学術・文化交流を通じ、地球規模の課題の解決に向けた地域からの将来像の提案」も踏まえ、社会的マイノリティ（外国人住民、障がい者等）の参画が可能となる自治体制度のあり方に着目し、市民参画制度の課題について調査を行います。

◇湘南国際村の知的資源や研究活動の成果を発信します

湘南国際村（神奈川県三浦郡葉山町）には、総合研究大学院大学や地球環境戦略研究機関（IGES）など、さまざまな研究機関があり、最新の研究を行い、英知を集積しています。「生涯学習促進事業（湘南国際村アカデミア）」では、その研究内容をわかりやすくお伝えする生涯学習の催しを行っています。

※各事業の詳しい内容は、ホームページを通じてご提供いたします。当財団が作成した報告書（一部を除く）、ブックレット、リーフレットはホームページからダウンロードすることができます。

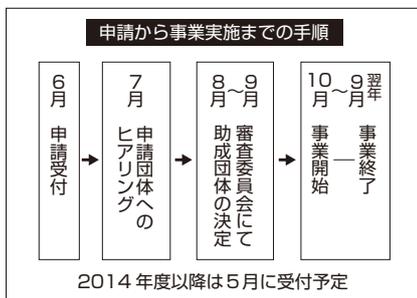
“NGOを応援します” かながわ民際協力基金の助成にご応募ください

かながわ民際協力基金の助成方法が変わりました

かながわ民際協力基金は、貧困と飢餓、環境、人権、平和など、地球規模の課題の解決と「共に生きる」開かれた地域社会づくりをめざして1993年に設立されました。この度新たに「多文化共生の地域社会づくり応援事業」を開始します。神奈川県内の各地の実情に合った多文化共生の取組みを支援することにより、県内全域に持続可能な多文化共生の地域社会づくりを進めていきたいと考えています。

新設した「多文化共生の地域社会づくり応援事業」では、助成の上限額を20万円以内（全額助成）とし、外国人住民の方の社会参加や自立支援を促すような取組みや多文化共生の地域づくりを進めるプロジェクトを応援します。外国人団体や小規模な企画を行いたいNGOの皆様が応募しやすい助成事業です。

従来から実施している「かながわ民際協力基金助成事業」については、年2回（春期・秋期）実施していた募集が年1回（2013年度は6月）になり、助成上限額は200万円以内（2分の1助成）になります。募集要項の詳細、及び、申請書類については、当財団のホームページからダウンロードできます。



■ネパールでの教師トレーニングのひとつ
写真提供：(特活)地球の木



■就労支援の一貫としてのパソコン教室のひとつ
写真提供：(特活)ABCジャパン

助成事業を募集します 受付期間 2013年6月1日(土)～2013年6月30日(日)

● 助成申請資格（下記ⅠとⅡに共通）

「民際協力」の理念を理解し、地域の民際協力活動の推進に積極的に参加、協力している団体で、原則として次の1～3のいずれかに該当するNGO（市民による国際協力団体／法人格は問いません）。

- 1 神奈川県内に活動の拠点を有するNGO
- 2 神奈川県内に多数の会員を有するNGO
- 3 主に神奈川県内で活動するNGO

Ⅰ かながわ民際協力基金助成事業

● 助成の対象となる事業

(1) 海外協力事業

海外の開発途上地域において、福祉・生活環境の向上、環境保全、教育、人権保護等の課題に、地域住民と共に取り組む草の根レベルの協力活動

(2) 国内協力事業

神奈川県内において、外国人住民等の人権を守り、異なる文化を互いに認め合いながら「共に生きる」地域社会を実現するための協力活動

(3) 担い手育成事業

神奈川県内の「民際協力の担い手」を育成する活動

(4) 団体活動充実事業

NGOの組織の自立や、スタッフ研修やプロジェクトの事前調査など、活動のレベルアップを図るための活動

(5) 緊急支援事業

国内外の大規模な災害等の発生に伴い実施する緊急支援活動

● 実施期間

その年の10月1日から翌年9月末日までの間に開始し、且つ、終了する事業。(5)の緊急支援事業はこの限りではありません。

● 助成上限額（助成対象経費の2分の1以内）

- ① 200万円以内（海外協力、国内協力、担い手育成事業）
- ② 50万円以内（団体活動充実事業）

※緊急支援事業については申請内容により決定します。

Ⅱ 多文化共生の地域社会づくり応援事業（新規）

● 助成の対象となる事業

持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくりを推進するための小規模な活動

● 実施期間

その年の10月1日から翌年9月末日までの間に開始し、且つ、終了する事業

● 助成上限額（助成対象経費の全額助成）

20万円以内

● 申請受付期間（上記ⅠとⅡに共通）

2013年6月1日(土)～6月30日(日)（当日消印有効）

※持参の場合は17:15までに事務所に届けてください。

助成の相談・問合せ先 <申請の相談はいつでもできます>

KIF 公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation
多文化共生・協働推進課 かながわ民際協力基金担当

○住所 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階
TEL: 045-620-0011 FAX: 045-620-0025 Email: tabunka@k-i-a.or.jp（土日祝休み）

かながわ国際交流財団 おすすめ情報

報告書とリーフレットができました。詳しくは、次の記事やホームページをご覧ください。ホームページでは全文（PDF ファイル）を見ることができます。



『外国人コミュニティ調査報告書 2 —ともに社会をつくっていくために—』

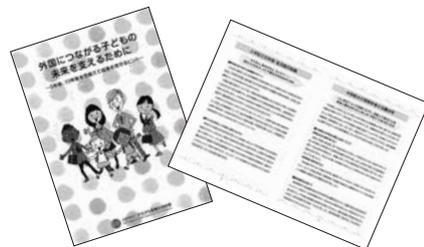


昨年度に実施した調査に引き続き、外国人コミュニティの活動状況や生活課題を詳しく把握し、当財団のような中間支援組織や行政機関が外国人コミュニティとどのように関わり連携していけばよいのかを考えるため、県内のベトナム、カンボジア、ラオス出身者による、12のコミュニティにヒアリング調査を実施し、その結果を報告書にまとめました。

報告書は「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」や当財団のホームページから見ることができます。ご希望の方には冊子をお送りしますので、お問い合わせください。

<http://www.k-i-a.or.jp/kcns/news/833>

『外国につながる子どもの未来を支えるために ～5年後、10年後を見据えて成長を見守るヒント』



外国人住民の定住化に伴い、日本生まれの外国につながる子どもたちや、日本の学校で学び日本社会に巣立っていく子どもたちが増えています。このリーフレットでは、外国につながる子どもたちの身近にいる先生方や支援者の皆さんが、子どもたちの将来を見据えて関わり、成長を見守るヒントを紹介しています。

外国につながる子どもたちが高校や大学等へ進学する際やアルバイト・就職の際に気をつけるポイント、在留資格取得・更新などの手続きや相談先、役に立つリンク集も紹介しています。

<http://www.k-i-a.or.jp/kcns/news/841>

多文化共生の基盤整備に役立つポータルサイトを作りました。また、日本語を母語としない方の日本語学習に役立つホームページも新しくしました。ぜひご覧ください。



—外国人住民の暮らしを支えるポータルサイト— 「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」



外国人住民の暮らしに役立つ情報、支援者に役立つ情報、多文化共生に関する情報、交流に役立つ情報などをまとめたポータルサイト（ホームページ）「かながわ・こみゆにてい・ねっとわーく・さいと」をつくりました。県内の外国人コミュニティの情報も見ることができます。多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」とも連動しています。

これからさらに多くの情報をこのホームページから発信し、内容を充実させていきます。ぜひブックマークに登録してください。

<http://www.k-i-a.or.jp/kcns>

「かながわ日本語学習マップ」が「かながわ日本語教室・学習補習教室・母語教室マップ」になりました



「かながわ日本語学習マップ」が「かながわ日本語教室・学習補習教室・母語教室マップ」として新しくなりました。

このホームページでは、県内で日本語を学べる「日本語教室」、学校の授業の補習ができる「学習補習教室」、母語や母国の文化を学べる「母語教室」の開催日時や会場、学習形式などの情報を紹介しています。

地図なども新しくなり、教室の情報が探しやすいになりました。ぜひご活用ください。

<http://www.k-i-a.or.jp/classroom>

かながわ国際交流財団へのご寄付のお願い

当財団では、中期的な重点目標に据えた「持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり」の取組みを着実に進めるため、寄付者の皆様に次の4つの事業から用途を指定して頂ける寄付制度を設けております。ご厚意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ① 多文化共生の地域社会かながわづくり
- ② 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進
- ③ 国際性豊かな人材の育成
- ④ 学術・文化交流を通じた地域からの将来像の提案

振込先（郵便振替）：00280-4-49894
 公益財団法人かながわ国際交流財団
 銀行振込をご希望の方はお問い合わせください。
 TEL：045-620-0011

当財団への寄付は税制上の優遇措置が受けられます。（法人税、所得税、住民税（横浜市））
 当財団は、2012年4月1日に公益財団法人へ移行しました。それに伴い、寄付には税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、国税庁のホームページをご覧ください。
 ○タックスアンサーNo.1150 一定の寄付金を支払ったとき（寄付金控除）
<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1150.htm>
 ○タックスアンサーNo.5283 特定公益増進法人に対する寄付金
<http://www.nta.go.jp/taxanswer/hojin/5283.htm>
 例えば、当財団に年間合計で3万円を寄付された場合、11,200円の税額控除を受けることができます。（税額控除・所得控除の2つの方式があります）

かながわ国際交流財団（略称KIF）は…

地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いをこえて、いきいきと心豊かに暮らせる社会の実現のため、次の4つを柱として、多文化共生・NGO協働推進センター（横浜市神奈川区）を本部に、県内各地で様々な事業を展開しています。

- 1 多文化共生の地域社会かながわづくり
- 2 県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進
- 3 国際性豊かな人材の育成
- 4 学術・文化交流の促進

多文化共生・NGO協働推進センター（財団本部）



賛助会員募集のご案内

当財団の活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多文化共生の地域社会かながわづくりなど、幅広い活動を行っている当財団をぜひご支援ください。

●会員の皆様へのサービス

- ・本紙を定期的にお送りします。
- ・当財団の出版物を割引価格でご購入いただけます。
- ・提携しているエスニック・レストランの優待サービス等
 （会員サービスの情報提供 URL: <http://www.k-i-a.or.jp/member>）

●会費

- ①学生会員 1,500円以上 ②一般会員 3,000円以上 ③団体会員 10,000円以上

●申込み・問合せ

ホームページから申し込むか、財団にお電話ください。
 URL: <http://www.k-i-a.or.jp/member>
 TEL: 045-620-0011

湘南国際村学術研究センター



広告を掲載しませんか？

本紙は、NGO/NPOをはじめ、図書館、公民館、パスポートセンター、高等学校、市町村の国際担当部署、教育委員会、区役所、県庁、財団賛助会員の皆様などに配布しています。（発行部数：5,000部）
 広告の掲載に関する案内は次のホームページをご覧ください。お電話でもお問い合わせください。
<http://www.k-i-a.or.jp/ad>
 TEL: 045-620-0011

財団のホームページをご活用ください

当財団の事業内容、本紙には掲載しきれない様々なイベント・報告書発行の情報、県内の多文化共生・NGO支援などに関わる情報をホームページを通じて発信しています。
 URL: <http://www.k-i-a.or.jp>

